

休耕田畑と店舗空きスペースがつなぐ人の輪

ー 交流型ローリングストックと

地域特産品から防災対策を考える ー

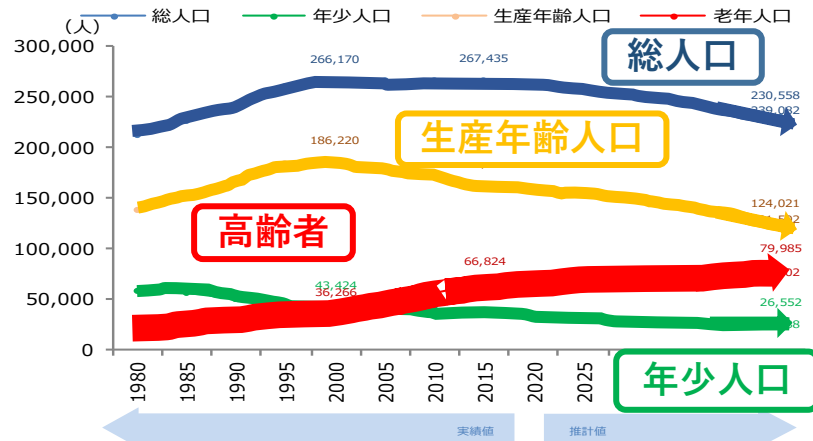
対象地域：兵庫県加古川市

兵庫県立農業高等学校 園芸科と食品科学科

小川時輝 江平純汰郎 小池美羽 楠菜奈 野島慎司 安藝琴音 村田葵 宮本脩利矢

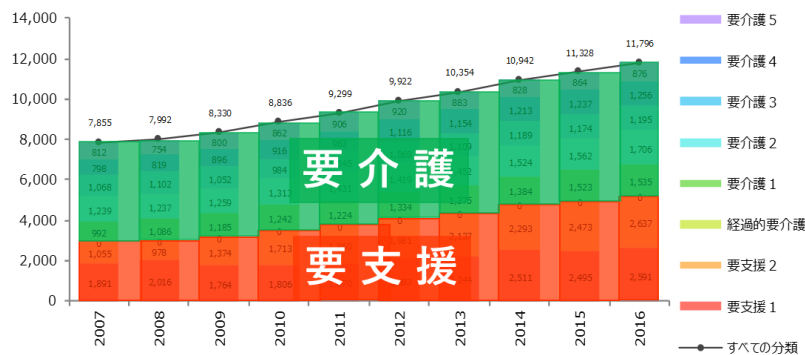
【RESASで地域調査】 — 学校がある加古川市での園芸科のこれまでの取り組み —

①人口推移（加古川市）



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②要介護者認定者数推移（加古川市）



【出典】厚生労働省「地域包括ケア見える化」システム
【注記】要介護（要支援）認定者数とは、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。
要介護認定制度及び要支援・要介護（要支援1～要介護5）の区分については、下記URLを参照のこと。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/nintei/index.html

人口推移から見たこと

- ☑ 総人口減少
（生産年齢人口・年少人口減少）
- ☑ 高齢者数増加（地域高齢化）

医療・福祉分野を分析

- ☑ 要介護・支援者総数が増加傾向
- ☑ 特に要支援者が増加

- ☑ 加古川市にも高齢化の傾向
- ☑ 将来どうなるか不安
- ☑ 要介護者が増加する可能性

【RESASで地域調査】 — 学校がある加古川市での園芸科のこれまでの取り組み —

【私たちの加古川市の課題】

☑ 高齢化対策

- ① 高齢者・地域を元気に
要介護・支援者数の抑制
- ② 魅力ある地域づくり
地域と連携した活動



高齢者のQOL向上！！
ささえあう地域に！！



農業の学びを活かした
園芸療法的活動

農業高校
(花生産)

地域高齢者
住民との交流

企業・大学・加古川市
(地域イベント)

農業高校・地域住民
(プログラム普及・提案)



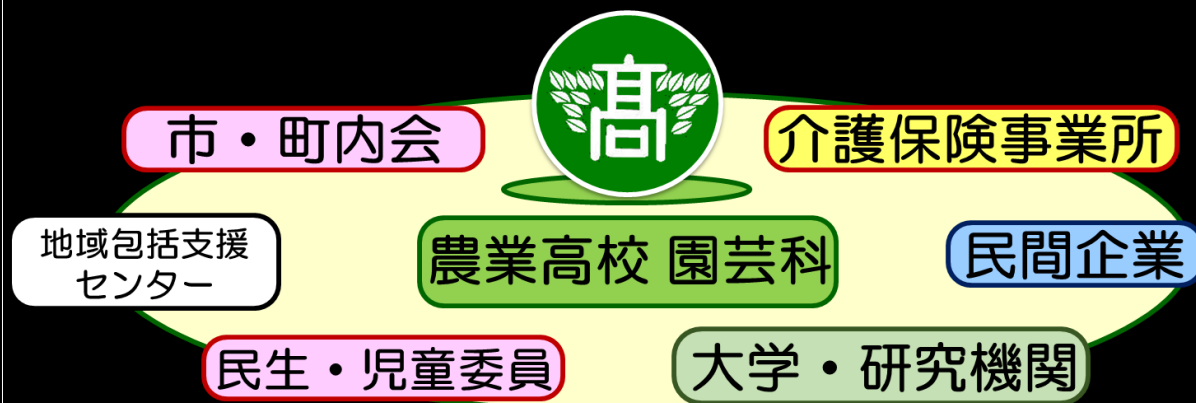
【RESASで地域調査】 — 学校がある加古川市での園芸科のこれまでの取り組み —

地域でつくる
ささえあいのしくみ

「超高齢社会」の現状 地域包括ケアシステム（厚生労働省）



2019年「ささえあい協議会」委員



地域包括ケアシステムの構築

☑ 地域包括ケアシステム

高齢者の日常生活圏内で、生活支援サービスシステムを地域で作る取り組み。

☑ 2019年～2023年

ささえあい協議会に県農高が委員として参加。地域創生を目指し、園芸療法的プログラムを有効活用。地域の魅力・ニーズを地元住民と発掘。

活動先で聞こえてきた地域の声

- | | | |
|--------------------|---|--------|
| ① 地域のいこいの場での交流活動 | ➡ | ☑ 継続実施 |
| ② 休耕田畑・店舗空きスペース | ➡ | ☑ 現状調査 |
| ③ 防災への不安（避難・食料etc） | | ☑ 対策考案 |

【調査方法の選択（データから現場までをつなぐ）】

☑ RESAS

可視化されたデータから、
地域の概要を調査する。

☑ 加古川市 HP

加古川市の取組みや方向性
を確認し、対策を考案する。

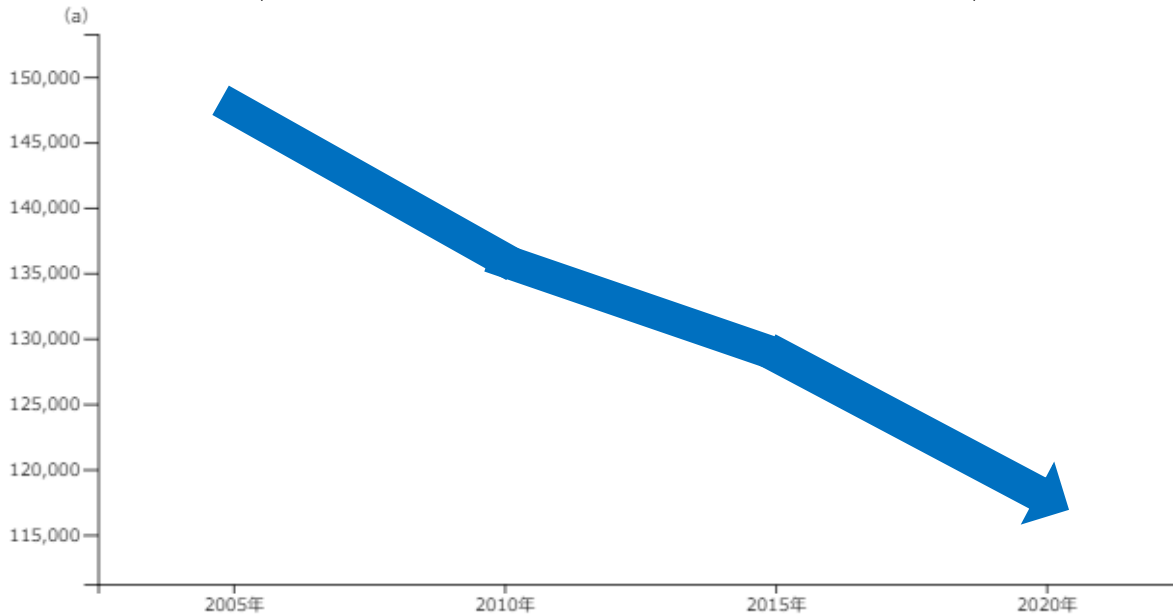
☑ 加古川市 現地調査

現地でしか伝わってこない
情報を対策考案に役立てる。

【RESASで地域調査】

— 地域の声から新たな課題を発見 —

③ 経営耕地面積 (総面積：兵庫県加古川市)



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は合算結果に反映されない。



【耕作面積減少の要因】

- ☑ 農業従事者の高齢化
- ☑ 担い手不足

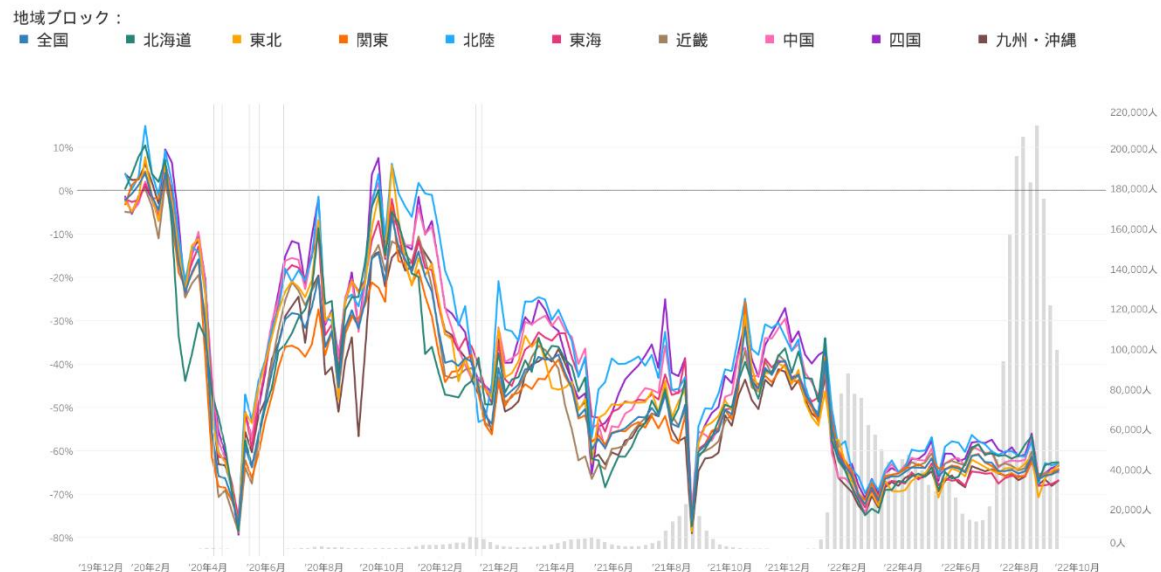
【田畑の多面的機能】

- ☑ 食料生産の場
- ☑ 生物生息地・景観保持
- ☑ 雨水流出量の調整（減災）

【課題①】

農地減少は地域全体に影響

④飲食店情報の閲覧数（地域ブロック）



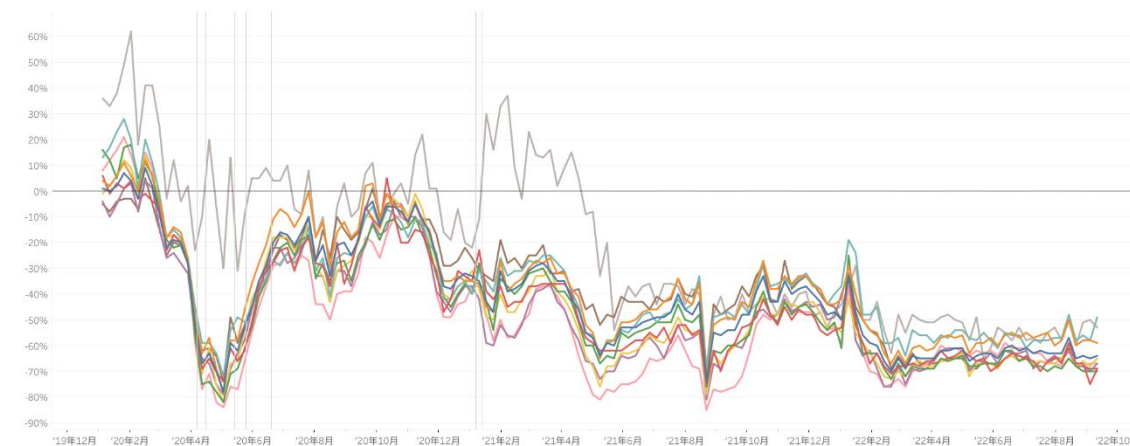
V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

⑤飲食店情報の閲覧数（兵庫県）

兵庫県全体

飲食店のジャンル

- すべて
- アジア・エスニック
- 洋食・西洋料理
- 鍋料理
- カフェ・スイーツ
- 和食
- 中華
- 肉料理
- 居酒屋・バー
- ファミレス・ファストフード



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

【陽性者増加と閲覧数減少】

☑ 来客数減少 ☑ 営業時間短縮

【課題②】

店舗空きスペース増加



【社会生活基本調査（総務省）】

ー 地域の声から新たな課題を発見ー

⑥ 「趣味・娯楽」の種類別行動者率 (2016年、2021年) 1) 2)

	2016年 (%)	2021年 (%)	増減 (ポイント)
CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	49.0	53.5	4.5
映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	52.1	52.7	0.6
スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	35.8	42.9	7.1
マンガを読む	...	36.8	...
趣味としての読書(マンガを除く)	38.7	31.6	-7.1
映画館での映画鑑賞	39.6	29.8	-9.8
園芸・庭いじり・ガーデニング	25.7	26.0	0.3
写真の撮影・プリント	24.9	21.9	-3.0
趣味としての料理・菓子作り	17.8	19.0	1.2
遊園地、動植物園、水族館などの見物	33.8	19.0	-14.8
スポーツ観戦・観戦(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	21.5	14.5	-7.0
カラオケ	30.7	13.5	-17.2
美術鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	19.4	11.4	-8.0
日曜大工	10.9	11.0	0.1
楽器の演奏	10.9	10.2	-0.7
編み物・手芸	10.6	8.8	-1.8
演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	14.5	6.7	-7.8
パチンコ	8.5	6.3	-2.2
キャンプ	6.4	6.0	-0.4
コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	13.7	5.9	-7.8
和裁・洋裁	6.4	5.5	-0.9

- 1) 「趣味としての読書(マンガを除く)」は、2016年は「趣味としての読書」としてマンガを含めて把握しており、マンガを除いている2021年は定義の変更があるため比較には注意を要する。また、「マンガを読む」を2021年に固定項目に追加している。
- 2) 「趣味・娯楽」の種類は男女総数の行動者率が5%以上の種類を表章

【コロナ過による行動の変化】

- ☑ 外出を伴う趣味・娯楽減少
- ☑ 一人でもできる行動増加
- ☑ 園芸・庭いじりの機会増加

【加古川市が進めるまちづくり】

- ☑ 連携・協力して解決
- ☑ 協働によるまちづくり

【課題③】

直接的なつながりが減少

【RESAS・V-RESAS地域調査・現地調査】 — 課題解決に向けた取り組み —

活動先で聞こえてきた地域の声

- ① 地域のいこいの場での交流活動
- ② 休耕田畑・店舗空きスペース
- ③ 防災への不安（避難・食料etc）

➡ ☒ [RESAS](#)・[加古川市 HP](#)・[現地調査](#)

【地域課題に対応した取り組み】

地域での人の交流・学びの機会

【課題①】

農地減少は地域に影響

【課題②】

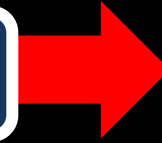
店舗空きスペース増加

【課題③】

直接的なつながりが減少

地域創生・防災対策

地域での人の交流・学びの機会



地域創生・防災対策

【休耕田畑・店舗空きスペース利用】

- ☑ 休耕田畑をコミュニティの場へ
- ☑ 畑を食料備蓄場所として考える

【防災：ローリングストック法】

- ☑ 非常食を買って日常的に食べながら備蓄



【人とのつながりを生むローリングストック法】

- ① 季節ごとの農産物を畑で交流し生産（多世代がつどえる場）
- ② 自宅や地域の場・店舗空きスペースと一緒に学び食品加工
- ③ 保存食をみんなで作って日常的に食べながら備蓄



【地域での人の交流・学びの機会】 — 休耕田畑の利用方法 —

【① 季節ごとの農産物を畑で交流し生産（多世代がつどえる場）】

種まき・植え付け→収穫



袋栽培

小スペース向け

市民農園

畑の学校

住民主体のまちづくり

【地域での人の交流・学びの機会】 — 店舗空きスペースの利用方法 —

【② 自宅や地域の間・店舗空きスペースと一緒に学び食品加工】

店舗を利用した加工・交流会

リモート参加も可能



調理教室

【加工例】

オイル漬

ドライ

水煮

ソース

ケチャップ



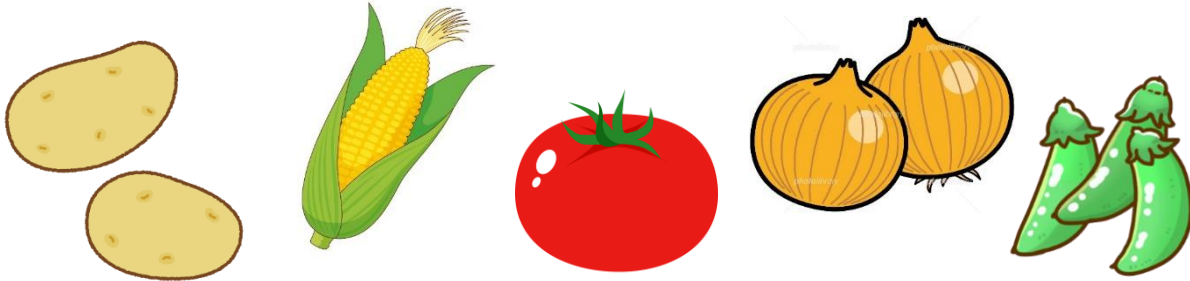
店舗の有効活用



小さな防災拠点

【地域での人の交流・学びの機会】ー ローリングストックの実践ー

【③保存食を日常的に食べながら備蓄】

消費時期	春	夏	秋	冬
旬				
加工・保存 可能期間中	漬物			
	乾燥・水煮・オイル漬・ペースト・ジャム			

年間を通した農産物・保存食の消費と備蓄

【実施に向けた課題】

① 農作物生産・加工方法はどうすればいいの？

☑ 加古川の達人を発掘（農家・店舗従業員・住民・農業高校）

② 参加者募集方法は？

☑ 人が通る場所に案内設置（畑・店舗・ゴミステーションetc）

③ 費用はどうするの？

☑ 畑 1 区画・店舗利用料を利用者から徴収

④ 野菜加工だけのローリングストック？

☑ 加古川で栽培される穀物を保存食に利用



【地域での人の交流・学びの機会】 — 新たな特産品を使った取り組み —

⑦ 品目別 農業算出額（総面積：兵庫県）

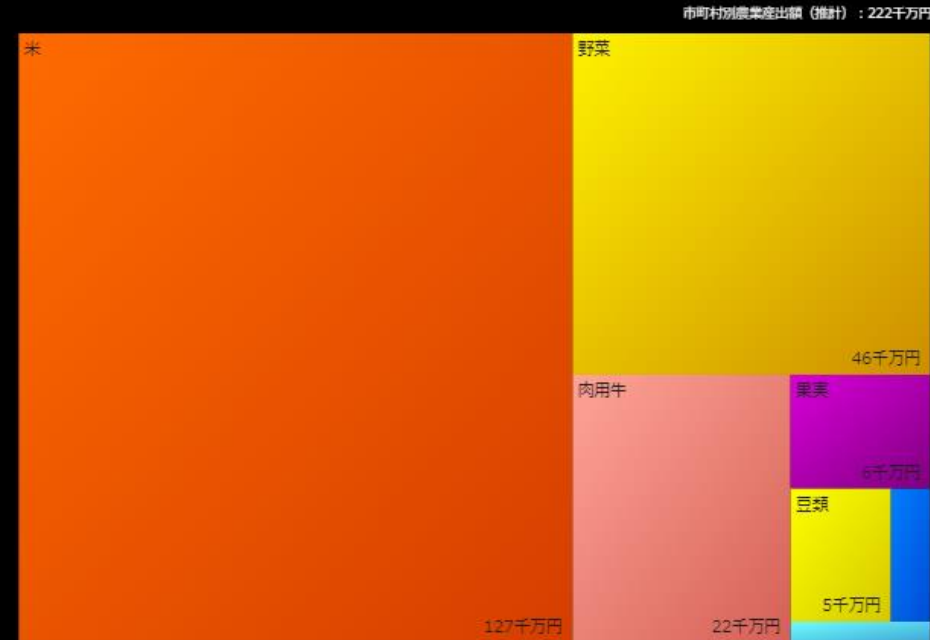


麦類：1億円

【出典】
郵政省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
市区町村別
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】
「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「プロイラー」を減じた額を含む。
合併機能において設置額が含まれる地域を合併した場合、当該地域の設置額は合併結果に反映されない。

⑧ 品目別 農業算出額（総面積：加古川市）



麦類：1千万円

【出典】
郵政省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
市区町村別
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

麦類栽培：加古川市は県全体の1/10

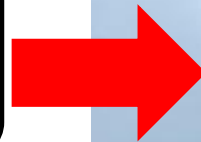
【地域での人の交流・学びの機会】 — 新たな特産品を使った取り組み —

【加古川市の特産品となる可能性がある麦の利用方法】



麦

麦の保存方法



押し麦

【地域での人の交流・学びの機会】 — 新たな特産品を使った取り組み —

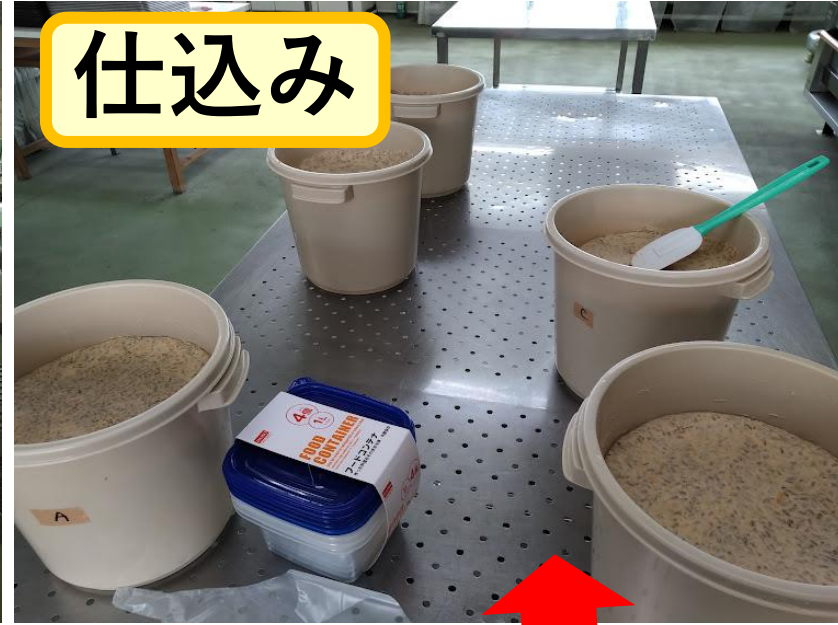
麦麴



混合



仕込み



保存可能な調味料：麦みそ

地場産業くつした型クッキー

くつした型クッキー



【地域での人の交流・学びの機会】 — 新たな特産品を使った取り組み —

【麦の利用方法について産官学で協力し考える】

株式会社オイシス

J A 兵庫 南

東播磨県民局

- ☑ 麦を使った商品開発の考案
- ☑ 麦を使った加工品作り
- ☑ 麦の利用に関する取り組みへの支援



【麦の利用を教えるプログラム考案】

加古川市：協働のまちづくり推進事業

- ☑ 小学校で麦を題材にした授業の考案
- ☑ 加古川市の特産品で「食」への意識向上

【地域での人の交流・学びの機会】 – 地域で防災・地方創生へ –

交流型ローリングストックと 地域特産品で防災対策

休耕田畑利用
(市民農園・畑の学校)

農家・農業高校
(加古川の達人と栽培)

店舗空きスペース利用
(加工・小さな防災拠点)

農家・農業高校・住民・店舗
(人がつながるローリングストック)

地域特産品で防災食
(新たな魅力・強み発見)

- ☑ 多世代交流・学習機会の提供
- ☑ 物理的な減災効果の維持
- ☑ 地域人材の発掘
- ☑ 地域貢献でのやりがい創出
- ☑ 新たなコミュニティの形成
- ☑ 店舗利用の新たな可能性
- ☑ 農と食でつながる地域の輪
- ☑ 地域で作る防災意識の向上
- ☑ 産官学で協力して商品開発

交流型ローリングストックと
地域特産品で防災対策



取り組みを通して

- ☑ 行動が新たな課題発見につながる
- ☑ 物事を多面的に見ることが大切
- ☑ 地域には未知の魅力が多く存在

「人」と「人」がつながり支え合う
安心して暮らせる地域づくりへ